体の自然治癒力を高めて健康に

８月４日、千代田公民館で「自己治癒教室」を開催しました。自分で自分の体をチェックし、メンテナンスができるようになることを目標とした講座で、健康に関心のある市民の方々が参加しました。

第１回では、体の張りや痛みを緩和するためのツボについて学び、指やツボ押し棒を用いて刺激していました。参加者からは、「体全体が固まっている感じがしていたので、参加できてよかった」と感想がありました。

粘り強さを活かして全国大会で活躍

８月 10 日、熊本県で開催される「ダイハツ全国小学生 ABC バドミントン大会」に出場する霞ヶ浦南小学校６年生の中泉琉花（なかいずみるか）さんが、市長を表敬訪問されました。

自慢のラケットを持参し訪問。粘り強さを活かしたプレーが持ち味で、「バドミントンはシャトルのコントロールが難しいけれど、試合に勝てたときは楽しいです」と話してくれました。「悔いのないよう、全力で挑んでください」と市長から激励の言葉がありました。

クラウドファンディングに関する協定締結

８月 17 日、「クラウドファンディングを活用した地域経済活性化等に関する包括連携協定」を、株式会社クラウドファンディングデザイン（渡邉代表：写真右）、株式会社 CAMPFIRE と締結しました。この協定は、新規事業に取り組む起業家などに対し、アドバイスや手続き方法、WEB デザインなどの導入サポートを行い、資金調達を支援するものです。官民連携により、地域活性化と市内産業の発展に向けたまちづくりを進めます。

チームで気持ちを一つにしつかんだ優勝

８月 24 日、「かすみがうら JVS（ジュニアバレーボールスポーツ少年団）」が、市長を表敬訪問されました。７月２・３日に行われた「関東ブロックスポーツ少年団バレーボール交流大会茨城県大会」で優勝し、７月 30・31 日に神奈川県で開催された関東大会に出場しました。「キャプテンが身長を活かした強烈なアタックを打ち、周りがボールを拾うというプレースタイルで、力を合わせて優勝をつかみ取りました」と話してくれました。

かすみがうら市の魅力を堪能

９月３日、県立カシマサッカースタジアムで「フレンドリータウンデイズかすみがうらの日」が開催されました。鹿島アントラーズのホームゲームの日に合わせて「フレンドリータウン」である本市の PR を行うイベントで、新型コロナウイルス感染症の影響により、３年ぶりの開催となりました。

スタジアム付近に特設ブースが設営され、特産品の販売や観光 PR を実施。特に、梨の販売を楽しみにしていた来場者が多く、約 300 個の梨が 20 分で売り切れるほどの人気ぶりでした。

特設ステージでは、「あゆみ太鼓」がパフォーマンスを披露。大迫力の演奏に、道行く人々も足を止めて盛大な拍手を送り、ステージは熱気で包まれました。また、「かすみがうにゃ」とふるさと応援隊「ガウラー C」もステージに登場。本イベント初登場のかすみがうにゃは来場者に大人気でした。

子どもたちの笑顔があふれた一日

８月 26 日、大塚児童館で「ちびっこサマーフェスタ」を開催しました。前半は、マザークラブによる「お楽しみ会」を実施。音楽に合わせて体を動かしたり、ボールなどを使った遊びを、親子で楽しんでいました。後半は、大道芸人のイタマコさんによる「ジャグリングショー」を開催し、子どもたちは大はしゃぎ。コマを空中で自在に操ったり、不安定な足場からのジャグリングを成功させ、会場に大きな拍手が響きました。

図書館に響き渡る音楽を楽しむ

８月 27 日、図書館で「ライブラリーコンサート」を開催しました。プラネタリウム風の照明で演出された館内に、市内で活動する音楽団体「かすみがうらサクソフォンクラブ」の心を込めた演奏が響き渡ると、参加者は目を閉じて耳を傾けていました。

参加者からは、「図書館でコンサートという組み合わせが素敵だと感じました」「心地良く音楽を楽しめました。また参加したいです」と感想がありました。